



ご利用にあたって

- 「安全情報」は医療・福祉関係の方に向けて発信したものです。一般の方に向けた内容ではございませんのでご注意ください。
- 内容は、いずれも発行日時点のものです。常に最新の情報をご確認ください。



安全情報 N0.8

2004.1.16

全日本民医連医療安全委員会

抗凝固薬服用患者の内視鏡検査時の投与中止基準について

内視鏡検査は、広く一般的に検診、検査、治療目的で施行されています。近年、高齢者の増加、虚血性心疾患、脳梗塞などの増加により、抗凝固作用薬剤が多用されています。抗凝固薬使用中の患者に内視鏡下の生検やポリペクトミーを施行しての出血事故が多数報告されています。医療安全委員会は、全ての院所で、その院所の特徴に合わせて抗凝固作用薬剤の投与中止基準を設ける事を推奨します。中止による危険の説明もふくめて患者に詳細な情報の提供、説明などのインフォームドコンセント、出血した際の対処など整備をお願いします。ある病院の規準例を提示しますので参考にしてください。

生検が必要な消化器内視鏡検査前の抗凝固作用薬剤の投与中止に関して

2001.8.3

千鳥橋病院消化器科

以前より抗凝固作用を有する薬剤を使用している患者さんの内視鏡検査時の生検やポリペクトミーの際には、ケースによっては施行できない場合があり、術前の薬剤中止基準が求められていました。しかし、薬剤効果には個人差があり、また生検やポリペクトミーの大きさや形、個数などの様々な要素で左右されるため、全国的にもまだコンセンサスを得られた一貫の基準はありません。抗凝固作用を持つ薬剤は10種類以上におよび、個々の薬剤で作用機序や持続時間が違うため、100%影響をなくすための中止期間がかなり長くかつバラバラです。しかも長期の休薬期間を取ることが危険なケースもあり、休薬するとのメリット・デメリットを十分勘案して休薬期間をおいてください。

今回、最低限の基準として以下の点を守っていただくようお願いします。

1) 基本的には抗凝固在投与ある無しに関わらず、消化器内視鏡検査はいつでも受けることができます。

2) 生検やポリペクトミーを希望される症例は以下の休薬期間が必要です。

7日間以上の休薬期間が望ましい薬 = = = = = > チクピロン

3日間以上の休薬期間が望ましい薬 = = = = = > アスピリン、ワーファリン

3) 他の抗凝固作用を有する薬剤に関しては現在のところ休薬期間なしで施行します。

*ワーファリンはPT-INRをできるだけ計測してください。(INR1.2以下が望ましい)

* その他、出血傾向が見られそうな患者さんの内視鏡検査は個別に御相談下さい。

4) 内視鏡の依頼用紙にも薬剤名の記載と中止期間の明記をすることが必要です。